

会議要旨	
会議名	令和5年度大津町中小企業・小規模企業活性化会議
開催日時	令和5年12月19日（火）10時00分～12時00分
場所	大津町役場 町民協働ルーム
出席委員	足立裕介会長・松永幸久副会長・松島嘉浩委員・本郷誠委員・西田典正委員・高木信委員・清原さおり委員・狭間直美委員・永田和彦委員・藤本聖二委員・村山龍一委員
欠席委員	厚地昭仁委員
出席者	(企業振興課) 山田課長 (都市計画課) 西光課長 【事務局】(商業観光課) 大隈課長・藤永主幹・古嶋（記）
次第	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 町長挨拶</p> <p>4 委員紹介</p> <p>5 会長、副会長の選任について</p> <p>6 議題</p> <p>（1）本町の経済発展に向けた今後の取組、中小企業振興施策等について</p> <p>（2）本町の工事・役務・物件契約における町内事業者の受注状況等について</p> <p>（3）その他</p> <p>7 閉会</p>

■議題

（1）本町の経済発展に向けた今後の取組、中小企業振興施策等について

事務局より説明 【資料4】

（議長）

ただいま説明がありました今後の取組、中小企業振興施策等について、ご質問などありましたらお願ひします。

（委員）

いろんな会合に出席させていただいて、今回で5～6回目になるが、話している割に成果が見えない。町長と町議の話し合いが具体的にどのくらい進んで、大津町の絵をどれくらい描いているのか、絵を描いたうえで話し合いをしていかないと徒労に終わるのではないか。

（委員）

町というのは、単年度主義で1年間で予算を決めて行っていく。予算執行というのは、振

興総合計画という骨太の計画があり、それに沿って行われているか、議会はチェックを行っている。企業も同じだが、定性的に取り組まなければいけないものと投資的なもの。結果はどうちかかというと投資的なもの。高齢化や少子化に対応をしているとそちらで予算がつぶれてしまう。投資的なものがなかなかできず、支援策は継続的に予算確保というのは、国や県からきたものに基づいて行うことが多い。いろんな事業の前進が見られないというのは、事業の成果を1年1年決算を基にチェックをしていく。それに伴った予算がきちんと有効的に機能したのかというチェックが多くて、執行部に対して、これはもう少しこのやり方が良かったのではないかという更新作業が企業的な考え方からすると多い。議会のなかでは、町長と議論し、実際に政策に反映されることははあるが、なかなか見えづらい。いろいろな提言をするなかで、振興総合計画のなかに組み込んでいく。コロナ明けということで、大津夜市に取り組んだ。たくさん賑わいがでてきた。町の活性化を考えるというのは、商工会を土台として行っているが、経済面に関しては、行政というのは、このような支援しか難しく、インフラ整備などを行う。

(委員)

目指すべき町の姿があり、その方向性を示しグランドデザインを描いて、それをみてどういうものができるのかという議論のほうがよりしやすいのではないかというお尋ねだと思う。振興総合計画がありそれに基づいて執行していく。ただ、この1.2年はTSMCの動きがあり、大きく情勢も変わっており、町のほうでもTSMCの関連で、これまでの縦割り社会のやり方ではなく、横軸を埋めるということで、農商工併進という考え方で、町長をトップとして推進本部を立ち上げている。TSMCが来ると分かった時点で推進本部を立ち上げ十数回会議を行っている。その中で農政サイド、都市計画サイド、あるいは工業、商業ということで現在行っている。役所の中でしか会議が行われておらず、オープンにされていないことから住民の方にはわかりにくいというご意見だと思う。会議の中でこのように進めていくということを逐一ご報告させていただく。今がちょうどグランドデザインを描くような段階になっている。新年度予算編成に向けてどのようなビジョンをというのは近々町長が示すときがくると思う。

(委員)

中小企業の団体としては早めにグランドデザインを示してほしい。企業連(大津町企業連絡協議会)の中でもいつかという声が出ている。早くその辺を町長に示していただけたらと思う。

(委員)

具体的な年次計画も含めて、駅周辺整備の話や工業団地、それぞれをどう共生していくのかというところは出来るだけ早く示さないといけない。

(委員)

中小企業をどんな風に一緒に振興していこうかなと、役場だけで考えてもどうしても知恵がない。活性化会議のなかで、皆さんのがそれぞれの立場でこのような支援があったほう

がいいやこんな事業を進めていったほうがいいなどのご意見を言っていただければと思う。

(委員)

マスター プランを描いてほしい、大きい絵をどのようにお示しするか。町民の方からすると TSMC が来る、どのような規模でくる、どんなところなのか、いろんな心配がある。それが一部の人は情報を持っているからわかるが、町がどういうふうに方向性を決めどういうふうに動いていくのか。町民の人たちが全員知っているわけではない。

(委員)

事業承継。大きな課題。今後どうしていくのか具体的に組み込んだ方が経済的な発展につながる。創業も大事。チャレンジ塾などを行なって本格的に創業とすればある程度成功例の道筋が立つのではないか。自分たちの課題も見えて来るかもしれない。

(議長)

事業承継は課題だと思う。商工会助成事業の中に入っているのかなと思う。現状何かされているのか。

(委員)

商工会でも事業承継に関しては取り組みを行なっている。集団でというよりも悩みを持っている方、承継したいと思っている方、譲り受けたいと思っている方もいる。大津町商工会だけでは厳しいため、熊本県商工会連合会と協力しながら。なかなか相手が見つからない。

(委員)

天草あたりでもしている。第三者に事業承継をしている。

(委員)

事業承継=M&A ということではない。M&A は難しい。親族内、親子間の承継もあるが、準備ができていないというケースがある。

(委員)

家族間の承継といつても税の問題が大きい。ある程度利益が出ている会社だと、株を譲る時も税金が発生する。生きているうちに株を譲るというのは今の国の制度ではなかなか難しい。そのあたり肥後銀行さんが色々と詳しいのではないかと思う。

(委員)

事業承継にものすごく力を入れている。町が衰退して行かないようにというのが一番で、社員も一番大きい会社のセミナーを受けて、私もコンサルタントの資格を持っている。一番は会社をなくさないこと。なぜ事業承継を行わないかというと、継いだとしてメリットがないため。そこをまずは改善しないといけない。町の振興=個人個人の会社の振興という形でしていく必要がある。方向性として、商店街の振興とあるが、大津町ではどのあたりを商店街として捉えているのか。

(委員)

前田町あたりを商店街といっている。ただ、商店が減ってきたのと空き家が増えてきたので、現在は肥後大津駅の北側の肥後大津にっこり会、南側のふれあい散歩道商店街繁栄会。

10 年ほど前にできた。自分たちの商店をまとめて地域で何かできないかを今考えているところ。そこを町として商工会さんと一緒に支援できないかなと考えているところ。

(委員)

商店街ってどこという現状が課題であって、商店街という形で皆が認識するならいいけど、企業主導でしていくのではなく、町主導で 1 つ作っていくというのがあってもいいのではないかと思う。駅を中心として 1 つの商店街を作っていくための施策がソフト面とハード面と分けるなら、どちらかというと振興券などのソフト面、柱となるハード面も。例えば駅前にコンビニがない。という意見も出ているので誘致するなど、スピード感を持ってしていく必要がある。すぐすぐできることと 5 年 10 年とかかることがあるので、やれることの中でやっていく必要がある。人を呼び込む。大津町の駅には学生が降りたり、工場関係の人たちが駅を利用している。大津町としてそこをどう生かしていくのか。テクノリサーチパークなどに通勤している人は、熊本空港まではバスがあるので、あと 5 分の距離がない。それがどうにかならないか。あれば車通勤をやめて、大津駅を拠点にバス通勤をするのに。駅周辺を中心とした商店街をつくれないか。台湾企業などと協力しながら。地元の企業が TSMC のチャンスを掴めるようにしたい。

(委員)

行政と経済界は違う。行政は経済界の動きに疎い。農業の衰退はおっしゃる通りで、農業をして子ども 2 人大学に行かせるぐらいの収入がないと誰も継がない。20 数年前から言っている。行政の役割と産業界の役割は少し違うため、それを結びつけるのは、肥後銀行さんとか金融機関。TSMC に翻弄されていて、企業誘致と言わなくても企業が来る。行政として力を入れるべきは、住みやすい町づくりを行わないといけない。

(委員)

方向性が決まらないから、例えば大津町は農商工併進でやってきたが、農業をしようとしている人たちができなくなってきた。企業がぽつんと入ってくる。「ここは農業用ですよ。」「ここは工場ですよ。」としないから虫食いがある。だから、早くグランドデザインを出して、ここには企業は入れませんよということをやらないといけない。既存商店街とはどこですか。顔が見えませんよね。これは商工会側にも課題があるが、空き店舗があれば、空き店舗対策をしようこれまでずっと取り組んできた。創業する人がいれば空き店舗を勧めたりしている。何もかも町にしてほしいわけではなく、町にしかできないことをスピード感をもってしてほしい。

(委員)

町に泊まってご飯を食べても、2 次会は熊本市内に行ってしまう。今は TSMC 関係の人たちでホテルはいっぱいになっているが、これをうまく活用し、活性化させるためにはどうしたらいいのだろうかというのを、商工会の人たちが学ぶのにいい機会なのではないかと思う。TSMC 関係の人、またそれに関連した企業の人たちから、食べるところがない、タクシーがない、住むところがないといった声をよく聞く。それをどうにかしてほしいと熊本県庁

の人们にも伝えた。県庁の人達は対応していますと言って、じゃあいつですかと聞くと3年後ですと言わされた。それでは遅い。年内にしないと。食べるところとタクシーの2つに関しては必ず24時間対応できるようにしてくださいと伝えた。また、工場の隣に住宅街の開発が行われるなど棲み分けができていないため、企業と住民間で問題が起るとと思う。町はそこまで考えて認可していただきたい。

(議長)

全体像が定まらないと事業の拡大も難しい。TSMC の件も、1つはそれに乗つかって、事業を拡大させていく。あるいは、進出企業が来た場合、いずれは撤退する可能性がある。

(委員)

20数年前に「本田技研工業（株）熊本製作所は自動二輪を熊本製作所に集約する」というニュースがでた。元々エアポートホテル熊本というのは熊本空港から一番近いホテルだった。そのニュースが出た途端に、国道57号線沿いに7つのホテルができた。TSMC ができるということで、第1期工事ではそうなかったが、第2期工事が熊本で始まるというニュースが流れて、軒並み全国の大手のビジネスホテルチェーンがここに進出してくる。数えているのだけでも、6つか7つぐらい新たにホテルができる。今は、TSMC の流れがあるので、大津界隈というのはホテルは高いし、なかなか取れないという苦情がある。宿泊のベッド数がどれくらい変化するかというと、今がこの界隈で約1,400～1,500くらいで、それが1,500くらい増え、トータルで3,000床くらいになる。これは自然な現象で誰も止められない。企業からするとその地域で利益が獲得できると頭に置いている。大津町がTSMC によって大きく変化しているところを、町づくりのグランドデザインとしては大きい観点から見てほしい。10月28日新大空港構想というのが県からでた。非常にインパクトのある話で、この地域が熊本県で、最大の姿を変えたということ。そこに地元の大津がどれだけ町の施策として認知しているか。菊陽町では、総合体育館ができ、町長は毎週上京していろんなところから話を聞き、スポーツ庁でオリンピックの新しい種目の中にスケートボードがあり、そういう施設をもって強化選手をつくる施設がない、それを取り組まないかという話をもらってきている。

(委員)

住みやすい町づくりというのは、住んでいる住民だけでなく、そこで働いている人、そこで生活している人、すべての人が生活しやすい、住みやすいと感じてもらうのが大事だと思っていて、インフラ面を整備していく必要がある。予算面の話もあったが、都市計画の全体のゾーンの見直しを前倒しで行うようにしている。これまでの予算編成でいいのか問われていて、今やるべきことは少し背伸びしてもやるべきではないかと思っている。

(委員)

町長はよくバランスと言われる。「バランスとは？」と聞くと、農業も大事だし、工業や商業も大事だと言われる。大津町も企業が結構増えて、税収も結構増えたが、国からの税収が削られてしまって、赤字状態になっている。なら、もっと企業が頑張って税収を上げてい

くので、もっと話し合いをしまじょうと話している。大津町は土地が多くある割には開発が小さいが故に税収も増えていかないのではないか。

(委員)

10年後の姿というのは欲しい。共通した認識で持っていて、時間のズレなどはあっても、最後は必ずそこにたどり着くというところを作っていくといけない。

(議長)

取組3の創業支援のところで、創業支援というのは、今後の町の中小的な発展には必要。創業支援補助事業というのは、ほつといても創業される方を後押しする形になるので、簡単にお金をあげてしまうと悪い面もある。創業支援でさらにやってほしいのが、若者の支援、高校生など。日本の開業率が低いのは、身近に開業・創業する人がいないから、他人事になっている。高校生などに創業を身近に感じてもらう。経営者などと話す機会を設ける。

(委員)

前年度町の創業支援では、16件が新たにスタートした。大津町では利子補給制度にも取り組んでいるため、そういうのとマッチングしながら、創業支援をお手伝いして、若い人が大津町で企業を起こしてくれるというのが必要だと思う。創業支援のセミナーにも力を入れていきたい。

(委員)

学園大学も熊本市と連携して若い人たちに向けてしているので、市町村としてするのもいいと思う。

(委員)

創業したいけれどする場所がないというのもある。お金をだしても、大津町で開業してもらうためには、場所を提供しないといけない。そういう情報を町や商工会などと連携して創業したいという人が訪ねた時に、こういう場所がありますよというのを伝えられたら。

(委員)

空き家や使える場所はあると思うので、コワーキングスペースとして使えるといい。

(委員)

子どもが市内の学校に通っている。熊本駅とかまで行くと駅前にキッチンカーが立ち並んでいて、ビジネスマンがお昼を買いに来ているのを見た。おしゃれな雰囲気なので、つい買ってしまう。大津駅になると駅前にコンビニもない、休憩する場所もない。子どもたちは光の森駅で降りてゆめタウンの中で待っている。新聞で見たが、北側に駐車場を拡張するような話が出ているということで、北側の送迎時間帯の渋滞が解消されることを期待している。その近くに高校生たちが立ち寄ってあつたまつたり、夏は涼んだりできるようなところができると大津にとどまるのではと子どもと話している。新たなイベントの創出ということで、夏に夜市が開催された。会場がオーパス広場だったので、駅から降りてきた高校生たちが流れてきた。10代の子どもたちがたくさんきていた。子どもたちの興味をひくものがのちのちの人材育成につながっていくと思う。

(議長)

コンビニなど普通は客が入るのであれば建つものだが、建たないのであれば土地的な問題があるのかと思う。

(委員)

高校生の子どもは毎日大津駅を利用している。大津町の駅周辺に何もないというのは、子どもたちも思っている。中学生の子どもは職場体験をすることができ、町内の企業で体験をして、大津町に残りたいという思いを少し持ってくれたのではないかと思っている。子どもたちには大津町に残って、就職してほしい。学校と行政と皆さんと連携してもらえるといふと思う。

(議長)

子どもは名前を知らない企業というのは偏見で下請けで大変だと思っていて、どうしても名前のある大手のグループ会社とかに就職してしまう。

(2) 本町の工事・役務・物件契約における町内事業者の受注状況等について
事務局より説明【資料4】

(議長)

ただいま説明がありました受注状況等について、ご質問などありましたらお願いします。

質疑等なし。

(議長)

ご意見等ないようですので、本日の議題はすべて終了します。